

2021年8月27日

会員 各位

アブラキサン点滴静注用 100mg 供給停止に関する対応について

この度、大鵬薬品から、「アブラキサン点滴静注用 100mg」について、海外提携製造先で検査の結果、基準を満たさなかったため、日本向けの薬剤輸出が中断し、10月中旬以降、日本での供給が一時的に停止される見通しとなったことについて、発表されました。

また、これに関して、関連学会（日本臨床腫瘍学会・日本癌治療学会・日本臓器学会・日本胃癌学会・日本乳癌学会・日本肺癌学会）から、8月26日、合同声明文が出されています。

関連学会の声明文の内容は次のとおりです。

1. 現在アブラキサンによる治療を継続中の患者さんについては、
 - 1) アブラキサンによる治療に効果があり継続中の患者さんを最優先してください。
 - 2) 胃癌・乳癌・肺癌患者さんにおきましてはアブラキサンをパクリタキセルに切り替えるなど代替治療を積極的にご検討ください。
2. 新規に治療を開始する患者さんについては、
 - 1) 代替治療への切り替えが困難な膵がん患者さんやアルコール不耐（パクリタキセルへの代替困難）の患者さんの治療を優先ください。
 - 1) 胃癌・乳癌・肺癌患者さんにおきましてはアブラキサンをパクリタキセルに切り替える（肺癌、胃癌）か、他の治療法に切り替える（乳癌）など代替治療を積極的にご検討ください。
3. アブラキサンはもとより、パクリタキセルなどの代替薬の必要以上の購入はお控えください。

本学会の会員におかれても、この声明文の内容について、十分ご理解のうえ、声明文に準拠した使用となるよう医師との協力、関連薬剤の必要以上の購入を避けた適正な在庫管理、変更後の患者への説明など、適切な対応に努めるよう、ご配慮のほどお願いします。

一般社団法人 日本臨床腫瘍薬学会 理事長 加藤裕芳